

令和2年〇月〇日

病院長 先生 小児科部長 先生

## 「医療機関における被虐待児に関する病院へのアンケート調査」へのご協力をお願い

事業検討委員会 座長 石崎優子（関西医科大学）

調査実施主体 PwC コンサルティング合同会社

初冬の候、貴下ますますご清祥のことお慶び申し上げます。

さて、このたびPwCコンサルティングでは、厚生労働省「令和2年度子ども・子育て支援推進調査研究事業」の国庫補助を受け、「医療機関における被虐待児童の実態に関する調査」を実施することといたしました。本事業は、医療機関に入院する被虐待児のうち、治療が不要である児や児童相談所が関与していない児が一部いるという調査結果（PwC コンサルティング合同会社「医療機関における被虐待児童の実態に関する調査」報告書、平成30年度子ども・子育て支援推進調査研究事業）があることを踏まえ、アンケートを通じ、医療と福祉のより良い連携体制を進めるうえでの障壁や留意点等を整理するものです。

アンケート調査は、社会的入院の実態について、平成30年度事業からの継続調査として実施します。つきましては、業務ご多忙のところ大変恐縮ではございますが、ご協力を賜れますよう、何卒よろしくお願いいたします。

### 記

#### 1. アンケート調査の概要

- ① 対象：全国の医療機関 930 施設
- ② 調査方法：郵送調査法
- ③ 調査期間：令和2年〇月〇日～12月28日
- ④ 主な質問事項：貴院の虐待対応組織の概要、被虐待児およびそのおそれがある子どもの入院実態、社会的入院実態、虐待対応における他機関との連携等について
- ⑤ 回答をお願いしたい方：子どもの虐待対応に携わっている医師または医療ソーシャルワーカー
- ⑥ 倫理的配慮について：本調査で得られたデータによって、個人や機関名が特定されることはありません。また、本調査は関西医科大学総合医療センター 研究倫理審査委員会において審査を受け、承認されております。（承認番号第XX-XX）
- ⑦ 利益相反について：この研究は外部の企業等からの資金の提供は受けておらず、研究者が企業等から独立して計画して実施しているものです。したがって、研究結果および解析等に影響を及ぼすことは無く、患者さんの不利益につながることはありません。

#### 2. 返送先

ご協力いただけます方は「全体票」および「個票（回答用紙）」にご回答いただき、返送用封筒に同封の上、本調査事業の回収事務局までご返送ください。

医師の皆様並びに医療ソーシャルワーカーの皆様方におかれましては、通常業務でご多忙を極めるところ更なるお手数をおかけしますこと、大変恐縮でございますが、以上の事情を踏まえ、主旨にご理解いただき、お力添えいただけますようよろしくお願い申し上げます。

<本調査や設問の記入方法等に関する問い合わせ先>

「医療機関における被虐待児童の実態に関する調査」事務局

PwC コンサルティング合同会社 公共事業部

([JP\\_Cons\\_hospital@pwc.com](mailto:JP_Cons_hospital@pwc.com)、070-1401-7386 (平日 10 時～17 時))

清水 式子、大瀬 千紗、工藤 晴樹、古屋 智子